

ひかり

JA東旭川だより

謹賀新年



撮影：クラークホースガーデン

TOPICS

新年ごあいさつ ②

AGRI NEWS

上川管内ななつぼしコンテスト 金賞受賞

9

No. 278  
2026.1.1



## 新年のご挨拶

代表理事組合長 畑山 義裕

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。またJA事業へのご理解ご協力に対しまして改めて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、東旭川農業の基幹作物であります水稻につきましては、春先の一時的な低温や強風の影響がありましたが、以降は高温傾向が続き、生育は回復しました。

作況につきましては、新たな試算方法に基づき「作況単数指標」という形で公表され、上川地区は96という結果となりました。収量は平年作に至りませんでしたが、タンパク値は基準内出荷が多くなりました。米価につきましては、生産資材など経費の高止まりの中、安定経営に期待できる価格となりました。

畑作につきましては、春小麦・秋小麦などは高温の影響により計画数量を下回り、大豆の作況は平年以上となり、そばにつきましては平年並みの収量となりました。

野菜・花きにつきましては、夏場の高温の影響を受け、収量は減少しましたが価格の高値により販売計画を達成することができました。

また、昨年11月に開催されましたJAグループ「基本農政確立全国大会」において、持続可能な水田・畑作農業対策の早急な確立の中で、特に当地域の基幹作物である水稻に関する令和9年度以降の農業政策として①新たな政策への移行にあたり、作付判断や営農準備の期間を十分に確保するとともに、生産現場や関係者が取り組みやすく、関係団体などの事務負担にも配慮した簡潔な制度及び運用とすること。②水田活用の直接支払い交付金の見直しに当たっては、今後農業者数の急減などが見込まれる中でも、持続的に需要に応じた米や各戦略作物の生産・安定供給が図られるよう、生産性の向上による水田生産基盤の維持を後押しする支援に見直すこと。③現行の産地交付金制度について、地域計画の実現及び産地形成に向けた幅広い取り組みを支援する制度に拡充すること。④米の安定供給に向け、需要に応じた生産に取り組む意欲のある農業者の経営安定に万全を期すため、生産費高止まりの状況などコストに着目した新たな経営安定対策を構築すること等が提案されました。こうした重要政策に対して、JAグループの意思を結集し取り組んでいかなければなりません。今後、政策動向を注視し、組合員の皆様に情報を提供し、安定した農業経営に寄与してまいりたいと思います。

結びになりますが、本年が豊穣の年となりますよう、併せて組合員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

代表理事組合長 畑山 義裕

筆頭理事 坂井 英樹

理事 請川 幹恭

理事 佐藤 純也

理事 斎藤 雅紀

理事 鈴木 達也

理事 小藪 亮平

理事 小原 伸也

理事 荒内 孝文

理事 勤監事

理事 常勤監事

理事 代表理事

理事 常勤監事



## 令和8年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会  
代表理事長 樽 井 功

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向か、日頃より多大なご尽力をされていることに対しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも順調に推移しておりましたが、道内の広範囲において被害が発生した夏場の記録的な豪雨や干ばつにより各作物等の収量および品質に影響が出た一年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、円安基調の継続や国際紛争等に起因する資材価格の高止まりが農業経営に大きな影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。

この様な状況の中、昨年7月に実施された参議院議員選挙において、組合員・JA役職員をはじめとする多くの皆様のご支援をいただき、全国農業者農政運動組織連盟が推薦した東野ひでき氏を国政に送り出すことができました。

この一歩を重要な礎とし、改正基本法により基本理念として位置付けられた、国民一人一人の食料安全保障の確保や環境と調和のとれた食料システムの実現、持続可能な北海道農業の確立に向けて、組合員・JAの声を国政に届ける活動を継続していきます。

J A グループ北海道は、今後とも組合員との対話活動を一層強化し、協同組合の理念と精神を組織結集力につなげ、組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整え、「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本年は午年です。午年はエネルギーと行動力が高まり、挑戦や成長の機会が得られる年とされています。この謂われにあやかり、本年が北海道農業の更なる飛躍の年となることと、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。





## 新年のご挨拶

上川農業改良普及センター  
所長 山本正浩

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり東旭川農業協同組合の組合員とご家族の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また、平素より農業改良普及センターの活動に対し、ご理解とご協力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、近年は猛暑に悩まされる状況が続いています。令和7年は令和5年ほど影響は強くありませんでしたが、気温や降水量などの気象条件が短期間で比較的大きく変化する現象が頻発しており、農作業の適期を逸したり特定の病害虫の多発により収量や品質が低下した作物もありました。

そのような中、収量・品質は平年と同等レベルを確保する作物がありました。これは、基本技術の励行と、厳しい気象環境に適した新たな技術を導入するなど、柔軟な対応によってもたらされた結果であり、生産者や東旭川農業協同組合役職員の皆様、関係者各位の尽力に敬意を表します。

生産資材や機械類の値上がりが続いているが、一部の農産物では価格もやっと上がり、再生産が可能な状況になってきました。ただし、市場の農産物価格が高騰している品目では、日本産の農産物離れが懸念されています。また、これに伴って外国産の農産物が日本に攻勢を仕掛けてきています。一方、コロナ禍以降の消費形態の変化で、消費量や価格が落ち込んでいる品目もあります。

人口減少社会において農業を取り巻く環境は、混沌とした状況が続くと思われますが、国民の皆様が安全で安心して購入することのできる日本の農産物を、安定的に供給することが我々日本の農業に携わる者の使命と考えます。そのため、環境と調和した持続可能な農業を展開し、食料安全保障を実現するための生産体制をアップデートしていく必要があります。しかし、農業生産現場の人材不足は顕著で、人材の確保は喫緊の課題となっていますが、解決は難しい状況が続くと考えられます。その対策の一環として農業のスマート化・DX化が可能な分野は積極的な推進が重要と考えます。普及センターとしても皆様と一緒に考え、地域の活力向上に繋がる支援を続けてまいります。今後もお気軽にご相談ください。

結びに、今年も皆様がご健勝で営農され、豊穣の秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。





## 2026年 新春のご挨拶

青年部  
部長 横尾 裕司

新年明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より青年部活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、天候不順に加え、近年続く猛暑傾向が作物管理に大きな影響を及ぼしました。上川地方でも高温に見舞われ、品種別の対応や水管理の工夫など、従来とは異なる判断を求められる場面が多くありました。また、資材価格の高騰も重なり、農業を取り巻く環境は決して容易なものではありませんでした。しかし、このような状況下におきましても、部員一人一人が粘り強く取り組み、互いに情報や知見を共有しながら課題に向き合ってまいりました。青年部としての結束と協同の気持ちが、より強固になった一年であったと実感しております。

青年部活動と致しましては、地域農業の振興と成長を目指し、様々な活動を推進してまいりました。食農活動の一環として、今年度は旭川小学校の児童へさつまいもの植付け・収穫体験授業を実施致しました。体験を通じて「食べ物がどのように生産されるのか」「作ることの大変さ」「食の大切さ」への理解が深まるることを期待しております。収穫時には焼き芋を提供し、その時の子供達の嬉しそうな顔は忘れられません。先生方からも好評をいただき、大きな励みとなっております。

本年も「地域振興と成長」という思いを胸に、部員一同力を合わせて活動してまいります。他JAとの横の繋がりを意識し、上川地域として持続可能な農業を実現するための新たな取り組みを進めてまいりたいと考えております。また、地域の皆様との連携を深め、地域の発展に寄与できるよう努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとって実り多き一年となりますことをご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年を迎えて

女性部  
部長 吉岡 京

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで新年を迎えていらっしゃることとお慶び申し上げます。

また、日頃より女性部活動に対し深いご理解とご協力、ご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年の活動を振り返りますと、集荷場の花壇作りでは、一昨年の夏期研修で「四季彩の丘」を見学した際にペチュニアが美しかったため、栽培に挑戦しました。夏期研修では、道の駅サーモンパーク千歳の水族館へ行き、多くの魚を見学してその種類の多さに驚き、最後にはサケが一匹遡上する姿を見ることができたので感激致しました。ホクレンくるるの杜では、食品加工体験としてクッキーづくりを行いましたが、その中では農業に関するクイズが出題され、正解したクイズもあれば不正解となったクイズもあったため、新しい発見がありました。冬期研修では、釧路地方でのタンチョウ見学とともに、十勝の柳月スイートピアガーデンにてスイーツづくり体験を行いました。スイーツづくりには少し苦戦しましたが、おいしいスイーツを作ることができました。12月には新しい事業としてクリスマスリース作りとハンドマッサージ体験を行い、部員同士の交流を楽しむとともに、素敵なリースを製作することができました。

本年も明るく楽しく、女性部だからこそできる活動を精一杯考え取り組んでまいります。

最後になりますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

稻作協議会  
会長 佐藤絢也

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃より稻作協議会の活動に対してご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年の稻作を振り返りますと、春の雪解けから順調に作業は進みましたが、田植え後は低温や強風による生育不良が心配されました。その後は天候に恵まれましたが、夏場の生育期には高温少雨が続いた影響で生育が早まり、8月には稻刈りができそうな状態になり、順調すぎる生育に戸惑いを感じました。収穫を始めると、思っていたほど収量が伸びず、納得のいかない年になった生産者もいたかと思います。価格においては、一昨年に引き続き経験のない高値となり、生産者としては再生産可能な状況となってまいりましたが、消費者からは高すぎるとの声も聞こえました。昨年からJAにおいては、買取方式や特定の品種によるフレコン出荷等、生産者の要望を反映した結果、出荷契約数量 6万7千俵に対して7万俵と契約数量以上の出荷をいただきました。

協議会の活動としては、7月2日から2泊3日の日程で、広島、福岡にて道外研修を行いました。広島では“えみまる”的産地指定をいたしている株式会社フジの店舗にて販売促進活動を行った後、“えみまる”的販売状況や今後の“ななつぼし”的産地指定等について協議してまいりました。福岡では、ニチレイフーズグループの株式会社キューレイ工場の視察と冷凍米飯の試食をさせていただきながら“そらきらり”的取扱い等について意見交換を行いました。

また、直播栽培研究会・業務用米研究会と連携を取りながら、“えみまる”“そらきらり”的栽培試験や青空教室を開催しました。さらに、ホクレンによる「そらきらり」多収チャレンジに27名の生産者がエントリーしておりますので2月の結果発表に期待しております。

今年も協議会会員の皆様を中心に、JAや各関係機関と連携を取りながら、時代や環境に合った栽培方法や栽培技術の研究を進め、情報を共有し、東旭川稻作の発展に努力していきたいと思います。

最後になりましたが、今年も災害が無く豊穣の秋を迎えられる事と、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

## 新春のご挨拶

畑作協議会  
会長 荒内孝文

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より畑作協議会の活動に多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、雪解けは順調で春小麦播種作業もスムーズに進み、春作業は概ね順調に推移しました。6月までは、畑作物にはちょうど良い天候で小麦の収量も期待していたところであります。しかし、7月に入ると昼夜問わず厳しい暑さが続き、秋小麦は、登熟が早まり千粒重の低下、春小麦は、品質の低下により減収となりました。大豆は、作付品種を“とよまだか”に変更したことにより収量増と結果につながり、そばは平年並みの収量となりました。

また、受託作業に関して、天候の影響や受託作業者の減少により収穫作業等がなかなかスムーズに行えていない状況があります。適期作業に向けて、受託作業者の会議等で検討中ですので、生産者の皆様にはご理解いただきますようお願い申し上げます。

畑作協議会は変わらず、消費者に対し「安全・安心」な農産物を生産、提供することを基本とし、今後も技術の共有に力を入れ、収量増、高品質生産に向けた具体的な情報を研修会・講習会を通して提供できるよう準備していきたいと思いますので、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

本年も皆様が健康でご活躍され、豊穣の秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

旭川青果物生産出荷協議会東旭川支部  
会長 守屋 大輔

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、協議会活動にご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、冬季間の降雪が少なく融雪が早く進み春作業が順調に進むだろうと予想しておりましたが、春先の低温や日照不足で農作物に大きな影響があったように思います。本格的な夏になると一転、今までにない猛暑に見舞われ、6～7月は旭川の平均気温の過去最高を記録し、旭川青果物生産出荷協議会の出荷量も殆どの品目で前年割れするなど近年になく栽培環境は厳しいものになりました。

このような環境ではありますが、当協議会の出荷物は市場から高評価を得ており、会員の皆様の日頃の努力に改めて敬服致しております。

今後は従来の栽培管理では対応できなくなってくると思うので、喫緊の課題である高温対策を栽培講習会などで発信できるよう努めていきたいと思います。

今年は一昨年改正された食料・農業・農村基本計画に基づく農業構造転換集中対策期間の2年目にあたるので予算も確保され施策をしっかりと実行されることを期待しておりますし、私達も消費者の動向や実需者のニーズなどを注視しながら持続可能な農業ができるよう協議会活動を実施していきたいと思います。

最後になりますが、本年も皆様のご協力とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

## 新年のご挨拶

兵村の里運営協議会  
会長 鈴木 英義

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、協議会活動にご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は急激な物価高騰など厳しい状況が続く中、温暖化による高温の影響により作物管理の難しい年でしたが、そのような中、会員の皆様には栽培講習会や直売所などの視察研修会へのご参加、また「兵村の里」に出荷いただき、誠にありがとうございます。

本年も異常気象が予想されますが、このような中でも会員の皆様と考えながら、より一層の充実を図り、お客様のニーズに応えていきたいと思います。「兵村の里」の野菜・花は小面積でも出荷でき、消費者の反応もすぐに実感でき、会員の皆様の丹精込めて作った作物を個々が販売価格を設定できるので、とてもやりがいを感じています。本年も地産地消をもとに、会員一同活動していきたいと思いますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 「ご飯がすすむ農家めし」レシピコンテスト

10月29日、JA上川地区女性部・青年部協議会主催「ご飯がすすむ農家めしレシピコンテスト」がお城の鯉寿司にて開催され吉岡女性部長と横尾青年部長が出席されました。

このコンテストは、各JAの女性部・青年部が推奨したい地元の「推し食材」を使用したご飯に合うレシピを考案し、①「推し食材」を強く感じるか②幅広い年代にとって食べやすい料理か③「ご飯がすすむ」おかげかが審査されました。

当JAの女性部・青年部は、東旭川産さつまいもを使用した『さつまいものすき焼き風』を考案しました。入賞にはいたりませんでしたが、審査員の方々からは高い評価をいただきました。



## 市内農協連絡会議 鈴木知事を表敬訪問しました

11月14日、今津市長と市内4JAの組合長が、旭川産米のPRのため鈴木直道知事を表敬訪問し、新米が贈呈されました。

J Aあさひかわの古澤組合長より7年産米の作柄について報告された後、鈴木知事より「猛暑等厳しい環境下で良品質米を収穫されたことへ感謝を示すとともに、道内外の消費者へ向けたPRに取り組むことで安心して営農を続けられる環境を作っていく」とのお言葉がありました。



## ふるさと屯田米 販売促進

ふるさと屯田米グループは、11月13~17日の5日間、会員8名参加のもと、鹿児島県の山形屋で開催された『北海道物産展』に出店し、屯田米ななつぼしの販売を行いました。この物産展は全国で開催される北海道物産展の中でも4年連続売上日本一の巨大イベントで、ふるさと屯田米グループは毎年販売促進活動を行っております。リピーターのお客様にも多数お越しいただき、売れ行きも好調。充実な販売促進となりました。



## そ菜・花き 視察研修

11月4日、会員20名参加のもと札幌方面にて旭川青果物生産出荷協議会東旭川支部そ菜・花き視察研修が開催されました。

最初に、札幌みらい中央青果株式会社を訪問し、市場担当者より各品目の販売動向、全国産地の出荷状況や価格形成の背景、さらには取引先からの評価や要望について説明をいただきました。その後は、売場の配置や取扱品目などの説明を受けながら場外市場を見学し、短い時間ではありましたが市場全体の雰囲気や流通の一端を学ぶことができました。

視察後は場外市場にて昼食をとり会員同士の交流を深め、午後からは白い恋人パークを訪問し、施設内の展示や製造工程を見学致しました。

今回の研修を通じて、日頃の出荷に関連する情報を得られる貴重な機会となり、有意義な研修となりました。



## 女性部 冬期研修

11月19～20日の2日間、部員9名参加のもと、女性部冬期研修が開催されました。

1日目には釧路方面へ足を運び、鶴見台で特別天然記念物に指定されているタンチョウを見学しました。地域の方々がタンチョウを保護するために自主的に始めた給餌活動について学ぶとともに、保護活動継続の大切さを知ることができました。

2日目には十勝方面を訪れ、柳月スイートピアガーデンにて食品加工体験に参加した後、道の駅を巡って直売所の見学を行いました。道の駅では、それぞれの地域の特産品について知識を深めることができました。

今回の研修では、部員間でゆっくりと話をすることができ、有意義な研修を行うことができました。



## ANAフーズ企画食品本部が選ぶ上川管内ななつぼしコンテスト2025で金賞受賞!

上川地区「ななつぼし」の品質向上とブランド価値向上に繋げるため、ANAフーズ企画食品本部が選ぶ上川管内ななつぼしコンテスト2025が開催され、今年は管内11JAが参加しました。



生産者の皆様が丹精込めたお米を、「見た目」「香り」「味」「粘り」「硬さ」等を審査員が総合的に評価した結果、当JAの「ふるさとの米 東旭川米 ななつぼし」が見事「金賞」受賞となりました。

今後、JA上川ビルのみはら食堂において、「上川産金賞ななつぼし」として提供される他、ANAオンラインショッピングサイト「A-style」では「上川地区金賞ななつぼし」として商品化され、順次販売が予定されております。

ご契約者の皆さんに  
重要なお知らせ



# 災害時等におけるスムーズなご連絡のため 携帯電話番号の ご登録を、お願ひいたします。



## 災害時に大切な情報を受け取れない！

災害などで避難されている場合でも、**大切なお知らせ**を**より早く、より確実にお受け取り**いただくため、**携帯電話番号のご登録**をお願いいたします。



## 契約内容を確認できる書類が手元にない！

JA共済アプリなら、いつでも・どこでも、迷わずに、**ご加入の保障内容の確認**や、**共済金請求等のご連絡**ができるため、**JA共済アプリのご登録**をお願いいたします。



## JA共済アプリ

から

- JA共済アプリをインストールいただき、「JA共済IDの新規登録」を選択して、手順に従ってご登録ください。
- 登録完了後、JA共済アプリの下部メニューの「登録情報」より携帯電話番号をご登録ください。



App Store  
からダウンロード



詳しい手順を、  
こちらでもご紹介



※QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。

JA共済アプリ

各ストアから検索も可能です。

## ご登録等の操作方法は、オペレーターがサポートします

### 1 JA共済相談受付センターにお電話ください

0120-536-093

受付時間：9:00～18:00 (月～金曜日)、9:00～17:00 (土曜日)  
※日曜日、祝日および12月29日から1月3日を除きます。  
※メンテナンスなどにより、予告なく変更する場合があります。

### 2 音声ガイダンスにしたがって、[ 1 ] を押してください

JA共済アプリ・Webマイページに関するお問い合わせ窓口につながります。

一緒にできるから  
安心ですね



安心を、いつでも手元に。

## JA共済アプリ 新規登録キャンペーン実施中！

期間：2025年4月1日(火)～2026年3月31日(火)

先着30万名様

1,000円相当の  
デジタルギフトをプレゼント！

さらに

抽選で人気の豪華賞品

が当たる！(計600名様)

+ A賞  
Anker Solix C300 Portable Power Station



200  
名様

B賞  
ルンバ コンボ 2 Essential ロボット + AutoEmpty 充電ステーション



200  
名様

C賞  
象印マホービン STAN IH炊飯ジャー (5.5合炊き)



200  
名様

キャンペーンの  
応募方法等の  
詳細はこち



※応募には所定の条件がございます。(JA共済アプリをダウンロードのうえ、Webマイページに登録いただいた方が応募いただけます。)

※QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です。

JA共済

## 農業用資材 リサイクル回収

11月12～13日、17日の3日間、農業用資材のリサイクル回収が行いました。

12日は農薬ボトル・苗箱の回収で58件14.6t、13日の農業用ビニール・ポリの回収では74件18.2t、17日の硬質プラスチックの回収では49件3.8tの回収致しました。

また、3日間渡り各部会・協議会の方々にご協力をいただき、大変スムーズに回収を行うことができましたことにお礼を申し上げます。

組合員の皆様には、次回以降の回収の際にも分別へのご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 令和8年度 営農計画書の提出について

令和8年度の営農計画書については、1月中旬にクミカン報告書と合わせて郵送致しますので、下記の要領にて期日までにご提出願います。

### 1. 提出期限

**令和8年1月30日（金）**

### 2. 提出先

農事組合	提出先
西・本町、南地区、北地区	金融共済課（金融）
日の出・倉沼、桜岡地区	営農販売課
豊田、ペーパン	豊田支所

皆様から提出されました営農計画書に基づき①供給限度額 ②現金支出限度額 ③貸越極度額 が設定されますが、営農計画書樹立までの間、2月末まで暫定限度を設定させていただきます。暫定限度については、家計費を前年度の30%以内とし、家計費以外の項目については、前年度計画の範囲内と致します。

※提出方法については1月中旬のクミカン報告書郵送時に改めてご案内致します。

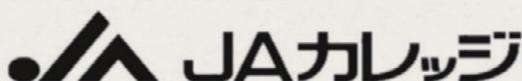
## J Aへの就職希望者100%就職内定

（令和7年度実績）

## 令和8年度入学生第3回募集

- 定員40名
- 男女共学
- 1ヵ年
- 寮完備（個室）/ 通学も可
- 受験資格：満27歳未満（令和7年4月1日現在）/ 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：令和8年2月15日（日）
- 願書受付：令和8年1月6日（火）～1月23日（金）消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

J Aグループ職員養成校



一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417

# みんなの広場

## 馬と歩く、冬のトレッキング！

桜岡にあるクラークホースガーデンでは、冬の乗馬体験を楽しむことができます！

かわいい馬と幻想的な雪景色をめぐってみませんか？

(要予約、詳しくはお問い合わせもしくはホームページをご確認ください)



### クラークホースガーデン

旭川市東旭川町桜岡160-4

☎0166-36-5963

営業時間

夏場：10：00～日没

冬場：10：00～16：00



## 女性部クリスマス用装飾制作会&ハンドマッサージ体験会



### 行事予定

#### 1月

- 6日 新年交礼会・五穀豊穣祈願祭
- 15～16日 みのり監査法人期中監査
- 19日 理事会
- 26～28日 組合員宅巡回訪問
- 30日 理事会・再生協議会・農事組合長会議
- 31日 事業年度終了  
みのり監査法人棚卸立会・監査  
決算棚卸



### 編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年もJAだより「JA-ひかりー」をご愛読いただき、ありがとうございます。

2026年は午年ですが60年に一度の丙午年にあたり、新しいことに挑戦されたり物事を一気に進めたりするには良いタイミングとされているそうです。

私ごとになりますが新しいことに挑戦ということで、今年は北海道マラソン完走を目指に掲げ、年々増える体重から減量の年のスタートにしていきたいと考えております。

最後になりますが、JAだより「JA-ひかりー」を引き続きご愛読よろしくお願い致します。 (坂本)